

A close-up photograph of a white cat's face, focusing on its eyes and nose. The cat has light blue eyes and a pink nose. The background is a soft, out-of-focus brownish-gold color. A vertical white bar is centered over the cat's face, containing the Japanese text 'ブリ子の日記' in black characters.

ブリ子の日記

# 一 迷子猫ブリ子



私はブリ子。上の写真は、保護される前の私。

ある日突然、迷子になつてしまった私。お腹は空くし、野良猫にいじめられて毛が汚れちゃうし、散々だったところをある会社の人間に助けられました。

迷子になつてお家に帰れなくなった旨を伝えると、人間は写真を撮つて迷子猫サイトに載せ、毎日チェックしてくれました。けれど、掲載期間内に飼い主から連絡はなかったのです。人間は捨て猫のかな、と呟いていましたが、私は聞こえないふりをしました。きつと飼い主はパソコンが使えなかっただけで、私を心配して探しているはずと思つたからです。

迷子猫サイトに反応がなかったので、人間は保護団体にも問い合わせました。保護団体からは「状況を聞くと捨て猫の可能性が高いです。かわいそうですが、このまま地域猫として暮らしてもらうのが一番いいか」という返事もらいました。

人間はがつかりしていましたが、私はそれがいいと思いませんでした。だつて捨て猫じゃないからきつと飼い主は迎えにきてくれるはずだし、最近のご飯をくれたり、雨の日はこっそり部屋に入れてくれる人が何人か現れたからです。



あの頃は大きな変り  
だったニャー

## 二 追われるブリ子

地域猫暮らしは至極順調に始まりました。

「ブリ子」という仮の名をつけてもらった私は、昼間は人間の働いている会社の前で日向ぼっこしたり、こっそり中に入れてもらったり。

会社がお休みの日でも、ご飯をくれたりお家に入れてくれる人もいました。

この暮らしも悪くないなと思っていたある日、人間が血相を変えて私に言いました。

「保健所の人  
が来た!」と。

中に入れてくれないかニヤ



外は寒いニヤ

もしかして  
ブリ子ピンチ

なのかニヤ



### 三ブリ子、保護される

ドナドナブリ子



その日の午後、のんびり会社に現われた私に「ブリ子無事でよかった、とりあえず中に」と人間が駆け寄ってきました。

「保健所の人 came たらから、早く！」

会社の中に入れてもらい、人間から話を聞くと、どうやら保健所の人猫を捕まえてどこかに連れて行ってしまいうらしい。しかもそこから帰ってこられる事は殆どない。

私は飼い主が迎えに来てくれるまでの期間限定地域猫だから大丈夫だと思ふよ、と人間に話したのですが、あまり耳に入っていなかったようです。その日のうちにカバンに詰め込まれた私は、知らない家に連れ帰られてしまったのです。

思わず

みけんに

シワ寄っちゃラ

ニヤ



あの場所で待っていれば、飼い主が迎えにきたはずなのだと思うと、無理やりカバンに押し込まれた恨みも相対して、すっかり人間が嫌いになってしまいました。しかも、保護された家には、「さば子」という先住猫がおり、私にしつこく意地悪をしています。嫌なことばかり、と不機嫌な顔をしている私を見た人間は

「まさか、保護してからの方が  
険しい表情になるなんて」

と肩を落としたのです。

あっかんべーだ



# 四ブリ子、日記を書く

イリ子のお家じゃないし、意地悪なさば子がおそってくるからもう嫌



イジワルな  
先住猫  
「さば子」  
絵：ブリ子

保護されてから不機嫌な顔が多くなつた私を心配して、人間は色々世話を焼くようになりました。

おもちゃを買ってきたり、おやつをくれたり。人間は分かっているようですが、こういったことは飼い主がやってくれるからこそ猫は嬉しいのです。

相変わらずムスツとしている私に、人間が尋ねました。

「ブリ子、何か欲しいものはない？」

私は、こう答えました。

「ブリ子の飼い主を探して欲しい。そして、飼い主に会えない間の出来事を日記として残しておきたいので、ノートと鉛筆を買ってほしい」と。

「まず猫は鉛筆持てるものなの？」と人間にすぐ突っ込まれたのですが、「ブリ子だから大丈夫」と答えたのでした。

ブリ子のつままない顔  
コレクション



さわんな



猫も口角下がったりするんだね、と言われた顔



ブリ子

つままない



# 五 ブリ子の日記

私の機嫌が良くなるなら、と人間は早速ノートと鉛筆を買ってきました。

猫の手に鉛筆は確かに使いにくい物でしたが、ノートも使いやすい物ではありませんでした。

横に線が引かれたものは、縦に文字が書きたくなった時に困るし、絵も描いたりしきない。真っ白い物だと、絵を描いたりしやすいけど、真っ直ぐ字を書くのが難しいのです。あと、紙が白すぎるのも眩しすぎて字の練習がはかどりません。(白いのはブリ子の毛だけでいい)

「ブリ子が字を書くのが下手なんじゃないか、人間が買ってきたノートが悪いのではないか」と伝えると、人間は困った顔をしましたが、私に負い目があるせいか「分かった、ブリ子の希望に沿うノートを探してくるよ」と言いました。



次に人間が買ってきたノートは、方眼紙のノートでした。  
これなら縦書きも横書きもできるし、ゆがまずに書くことができます。

絵を描くのも問題なし。紙も目に優しいクリーム色。  
しかも表紙が私の写真になっているのです。  
とても気に入った私は、毎日きちんと日記を書いて、  
飼い主の元に戻った際には見せてあげようと思ったのです。

縦でも  
書きやすく  
ブリ子びっくり  
なんだニヤ

表紙は  
こんな感じ  
なんだニヤ!



ブリ子ニヤ!



ブリ子の飼い主情報あったら  
コメントで教えてほしいニヤ



© briko\_stray\_cat

ブリ子の日記がもっと読みたい方は  
こちらをチェックニヤ!

ある日、保護した猫はやたら気が強く  
いつもなんだか偉そう。

ある人間に偶然保護された白い猫。プリ子と名  
付け、捨て猫だと憐れむ人間を尻目に、捨て猫で  
はなく迷子だと断言し、今日も飼い主が迎えに  
来るのを待つプリ子。

そんな捨て猫っぽいけど迷子と  
言い張る、プリ子の日記。

捨て猫

ちがうニヤン



ペットの写真で作る  
自分だけのオリジナルノート

ご注文・お問い合わせはこちらから  
手作り手帳研究所 Penotty(ペノッティ)

<https://penotty.com>

右記QRコードからもアクセスできます。



Penotty<sup>®</sup>

手作り手帳研究所